



平成 28 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 三菱重工業株式会社
代 表 者 取締役社長 宮永 俊一
(コード番号 7011)
上場取引所 東 名 福 札
問合せ責任者 グループ戦略推進室
広報部長 齊藤 啓介
(TEL03-6716-3111)

客船事業における特別損失計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期連結決算において、客船事業における特別損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 損失計上に至る経緯

平成 23 年 11 月に受注したアイーダ・クルーズ向け大型クルーズ客船 2 隻については、プロトタイプ of 客船建造の困難さが顕在化したことなどにより、大幅なコスト悪化が発生し、平成 26 年 3 月期連結決算において 64,126 百万円、平成 27 年 3 月期連結決算において 69,534 百万円を客船事業関連損失として特別損失に計上しました。

1 番船の建造に関しては、工事終盤に至って生じた設計変更や最終工程を進めている中で判明した不具合への対応等のため、引渡時期を延期することとなり、平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間において 53,061 百万円を特別損失に計上しております。

当第 4 四半期に入り、引渡に向けた最終仕上げや本船全体における制御システム確立、また、各種最終検査を進めてきましたが、本船は最新鋭の設備を装備しており、これら作業に想定以上に時間を要したこと、また、主機不具合の発生や、海上試運転で客先より指摘を受けた騒音対策に加え、火災事故も重なり、結果として引渡時期が 3 月中旬となりました。

また、2 番船の建造に関しても、1 番船の納期遅延影響や、1 番船での手直し・客先要求事項のフィードバックが生じたことなどにより、建造工程を大幅に見直すこととなりました。

以上の結果、当第 4 四半期連結会計期間において 50,850 百万円を特別損失として追加計上する見込みとなりました。

なお、年度累計で特別損失に計上する金額は 103,911 百万円となります。

2. 通期業績予想に与える影響

本件につきましては、本日(平成 28 年 4 月 25 日)別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に織り込んでおります。

以 上